

# 大人のチカラ

17

～子どもたちの未来のために～

## 地域で子どもを育てる②

### 「通学合宿」で 共同生活を体験

**今** 年度から、香川県教育委員会の「地域教育力活性化推進事業」のモデル事業に選ばれた、まんのう町の「四条公民館通学合宿」。親元を離れ、約1週間、仲間と共同生活を送る子どもたちの様子を取材しました。

#### 地域のスタッフと 規則正しい生活送る

子どもたちは約1週間親元を離れ、農村環境改善センターに寝泊まりして過ごします。今年には四条小学校

4～6年生29人と、地域のボランティアスタッフ約60人が参加。「気づき・考え・実行しよう」をスローガンに規則正しい生活を送りながら、洗濯や料理、片づけなどの生活体験を行う他、

手打ちうどん作りやキャンプファイヤー、天体観測などのイベントも行いました。

#### 「もらい湯」で 地域の家庭と交流

プログラムの中で特徴的なのが「もらい湯」。3～4人ずつの班に分かれ、ボランティア家庭のお風呂を借りていきます。入浴後は居間で学校のことや合宿のことなどを話したり、おばあちゃんが見聞かせをしたり、子どもたちの髪を乾かすシーンも。子どもたちもすっかりうち解けた様子で、

もらい湯を機に通学途中に声を掛け合ったりするなか、交流が続くといえます。今年度は9軒の家庭がお風呂を提供。参加した大人からは「まるでひ孫のよう。子どもたちとの交流がうれしくて、来年も提供したい」との声が聞かれ、地域の人手にとっても「地域の子もは地域で育てる」という機会作りにつながっているようです。

子どもたちは規則正しい生活を送ることで、自分の生活習慣を見直すきっかけにもなったよう。洗濯の仕方が分からない子には、毎年参加している子がリーダーとなり仕方を教えるなど、自然と助け合う姿も見られました。保護



協力／香川県教育委員会  
まんのう町四条公民館長・香川史子さん